



はしもとプラチカ

明るく楽しく協働の実践を広げたい



プラチカの意味・・・

Pratica

ポルトガル語で「**実践**」という意味

橋本市で**協働の実践**が

より広がるようにとの想いを込め

はしもとプラチカとしました

Since 2024



はしもとプラチカ 設立経緯

01



01 橋本市の自治と協働を「はぐくむ条例」

令和元年施行

住み慣れた地域で子どもから高齢者まで

地域で支えあいながら

安心・安全な生活をおくれるまち

を目指し

市民と行政、議会がともに力を合わせ

まちづくりを進めていきましょう！

とうたわれています。



01

橋本市の自治と協働を「はぐくむ委員会」

現在第3期（1期2年間）

はぐくむ条例を推進するため
橋本市の自治と協働を

「はぐくむ委員会」
が設置されています



令和5年度すこやか橋本まなびの日出展



第2期 職員協働研修

01

「具体的な協働活動の見える化」

市長へ提言書提出（2年に一度）
第2期はぐくむ委員会において
「報告交流会」を実施

（参加者36名

一般参加者18名 はぐくむ委員等他18名）

「具体的な協働活動の見える化」

の重要性が議論されました。

「協働を実践する団体が必要」
と意見が一致



市長への提言書提出



グループワーク



令和5年3月開催



01

はしもとプラチカ 発足

令和6年4月13日

市民 × 行政（地域振興室）

- 会社員、学校教諭でありながら地域活動にも熱心に取り組む者
- 橋本市家庭教育支援チーム代表
- 市民活動サポートセンター職員
- 公民館館長
- 地域振興室 2名 事務局
(8名うち2名ははぐくむ委員)



02

主旨と目的



02

はしもとプラチカ 発足

令和6年4月13日

市民 × 行政

住み慣れた地域で子どもから高齢者まで
地域で支えあいながら
安心・安全な生活をおくれるまちを目指し

自治と協働の実践を広げる

はしもとプラチカは
市民が協働の**第一歩**を踏み出すための
きっかけになれるよう活動していきます！



03

令和7年度 事業



03

第1回講座 若者の地域活動とキャンプ飯

5月10日(土)開催 参加者24名 10代以下5名 20代5名 40代5名
50代3名 60代5名 70代1名



03

感想

橋本市の普段関わる機会のない人たちと協力して調理やレクを行えて嬉しかった。世代間交流ができた。
(20代女性)

青指連を知る良い機会となりました。現役・OBの方々と調理やレクを共にする中で一気に距離が縮まり、今後もこうした交流を継続できればと感じています。
(40代男性)

関係づくりがないとただの飲食イベントになってしまうので、チームビルディングができるようになってよかった。
(40代女性)

橋本市に若いリーダーさんがたくさんいて頼もしく思った。橋本市も安泰。是非橋本市に残って活躍して欲しい。老若男女問わず楽しめるイベントであった。



03

第2回講座 はしもとオムレツを知ろう！作ってみよう！

7月12日(土)開催 参加者20名 10代以下5名 20代1名 30代1名 40代4名
50代1名 60代6名 70代2名

市民と行政との協働で誕生した「はしもとオムレツ」認定第一号店マロンカフェさんの「オムレツチーズブリュレクレープ」を実際に作りました



03

感想

橋本市の普段関わる機会のない人たちと協力して調理したりレクを行えて嬉しかった。

多人数ながら全員が調理を体験でき、待ち時間もすごろくやアイデア出しに充てられる見事な構成で、非常に良かったです。(40代男性)

空き時間の双六ゲームが意外と楽しかったです。クレープはとても美味しかったです。思っていたより、トンボの使い方が難しかったです。

初めての方ともいつのまにか話せて、いろんな情報を聞けて楽しかった。



03

第3回講座 農山村の暮らしと自治

9月6日(土)開催 参加者8名 10代以下1名 40代3名 50代3名 60代1名



03

感想

良かったのは橋本のことを、信太のことをいっぱい知れたことです。素敵な大人たちにいっぱい出会えたこと、パワーをもらってもっと活動したい！って思ったことが良かったです。
(10代男性)



ヒトとヒトを繋いでいくヒト、場所の大切さも感じました。
(20代女性)



プラチカの可能性が詰まった、今年最高の企画でした。少人数で意見を交わし、全員が当事者になれる素晴らしいイベントだったと思います。
(40代男性)



03

第4回講座 外国人との交流イベント

11月30日(日)開催 参加者70名 10代以下8名 20代17名 30代10名 40代3名
50代7名 60代14名 70代9名 80代2名



03

感想

外国の方と自然とたくさん話せるような、プログラムになっていて、楽しかったです。

幸せで、みんなフレンドリーで熱心です。
(外国人)

今日はとても嬉しくて、たくさん学びました
(外国人)

外国の方たちがすごく楽しそうにしていたのに感動しました。



03

第5回講座 ”備え”を地域へ生かす

1月31日(土)開催 参加者14名 10代以下1名 40代2名 50代1名 60代7名 70代3名

西館3階
震災の記憶フロア



はしちとプラチカみんなで
第5回講座 先進地
備えを地域へ



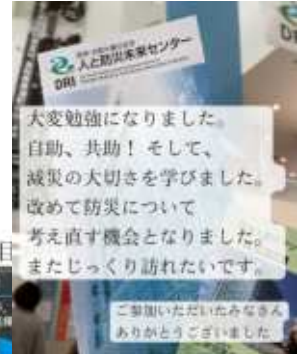
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

西館2階へ
防災・減災体験フロア



- コーナー
- ・災害情報ステーション
- ・防災・減災ワークショップ
- ・防災未来ギャラリー

語り部さんより震災の
貴重なお話をうかがいました



たくさんのパネル展示



03

感想

今回、防災の勉強を通じて初めてプラチカさんの活動を知りました。機会があればまたぜひ参加させていただきたいです。
(40代女性)



プラチカの活動は、様々なジャンルにおいて参加する人に対して当事者スイッチが入るような体験を提供してくれている。
(40代男性)



年齢差枠がなく老若男女が一緒に集える機会を与えてくださり、ありがとうございました。
(70代女性)



03

その他の活動

- ・プラチカミーティング
- ・ブース出展
はしもとマルシェ
SDGsはしもと環境フェア
- ・サマーボールボランティア
- ・プラチカフェ
橋本学童保育の会
玉川高野街道フェスタ
すこやか橋本まなびの日
- ・インスタグラム



成果

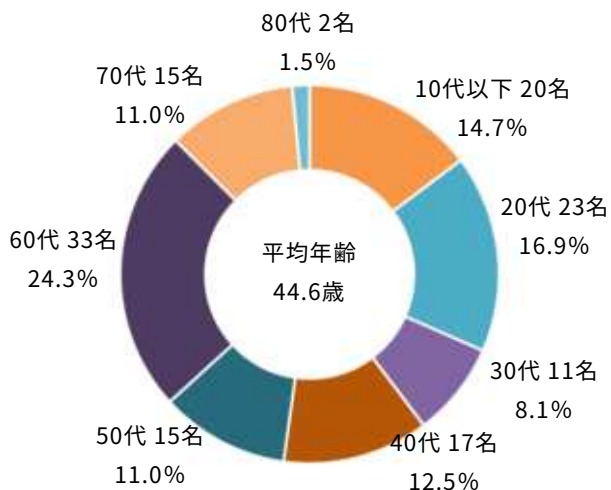


04

04 成 果

令和7年度みんなでチャレンジ

参加者113名 (+43名) 延べ人数136名 (+28名)



プラチカ

- 様々な市民との関わりから刺激を受け、新たな活動への挑戦につなげることができた。

行政

- ボランティア層の裾野の拡大や市民ニーズを直接把握する機会となった。

参加者

- 地域活動への心理的なハードルが下がり、街づくりを自分事として捉える契機となった。

THANK YOU!

ともに走り、動いていく景色の中に
一緒に身を置きながら
プラットフォーム的役割を果たしていく